

リポートニュース

令和6年7月号 NO.266

関東圏のディーラー系钣金工場では、人手不足が深刻で、クォーターパネルの交換などの钣金作業は3ヶ月待ちの状況があるようです。この背景には、長時間労働につながる残業時間の抑制や有給休暇の取得など労働環境の改善にあります。従来通りの作業量を消化するためには、絶対的な労働力不足が起きているのです。工場内の請負の钣金屋さんや下請け工場に仕事が回しているようですが、消化できる仕事量には限界があるようです。自動車メーカーが先進安全装置の開発に力を注ぐことで、事故を起こさない「クルマ作り」が人手不足の解消につながると期待されましたが、エーミングなどの検査も増え、修理も複雑になって手間がかかっているとの指摘もあります。钣金技術者の育成には、男だけの職場イメージを払拭して女性にも魅力ある職場と映るような環境整備が必要と思われる。

豆知識 ホンダ フィット GR1.2.5.7(ガソリン車)、GR3.4.6.8 (HEV車) ヘッドライトの年式の違いによる相違点

年式	ヘッドライトの相違点
前期 R2.2~R4.10	プロジェクター廻りのガーニッシュがメッキ
後期 R4.10~	プロジェクター廻りが黒



前期



後期

豆知識 ホンダ フィット GR1(FF車)、GR2(4WD) 1300cc と GR3(FF車)、GR4(4WD、e:HEV) 1500cc Rバンパーの前期、後期の違い

前期 R2.2~R4.10	センサーブラケットの刻印 右：S9、左：S10
後期 R4.10~	センサーブラケットの刻印 TZAV、右：R、左：L

形状は同一の為、センサーブラケットの刻印で前期、後期の判別は有効と思われる。



前期 左ブラケット



後期 左ブラケット

豆知識 ダイハツ ハイゼットトラック S500P (2WD)、 S510P (4WD) Fバンパーの年式による相違点

年式	ラジエターグリル部分	フォグランプの切り込み
前期：H26.9~R3.12	3段	無し
後期：R3.12~	1段	有り



S500P 前期



S500P 後期

商用車のため、バンパーとグリルが一体型になっています。

R6.8以降、車検はロービーム計測に変更されます

これまでヘッドライトの計測では、ロービーム測定が困難なクルマでは、ハイビーム計測を行って合格していましたが、R6.8からロービーム計測で合格する必要があります。計測では、光量、カットライン、色味、の検査項目があり、特に年式の古い車両や社外製ランプについて不利な検査となります。特にヘッドライトのレンズ面の劣化(黄ばみ、曇り、ひび割れ)、内部リフレクターの劣化(メッキ剥がれ、曇り)、純正と極端に異なるバルブ交換などが問題になります。このまま、あと一回車検を通して乗りたい!と予定していたものの、車検不合格のためにヘッドライトの新品交換をするケースも予想されます。車検前に十分な対策を講じる必要があります。



夏がやってきた!

額に汗がにじむ頃になると食堂のアイスボックスを覗き込む社員が増えてきます。今年は5月中旬に「アイス入り」になり、いつもの休憩時間の賑わいが戻ってきました! 今年は昨年の連休明けからの猛暑ほどではありませんが、アイスを食べると体が冷えたところで、またひと仕事! とても良い仕事のルーティーンとなっています。



バンパーの商品棚 完成

補修済みと塗装済の商品化されたバンパーは、登録点数が増えるつれ保管スペースが手狭になり、あらたに3Fに商品棚を増設しました。これにより出荷商品の動線が短くなり、素早い出荷対応のサイクルにもつながります。さらに3Fまでの部品を持ったままでの移動は危険ですので、この後、簡易リフトを設置して作業者の安全確保にも努めます。



ビフォー



アフター

ヘッドライトの間引き処分 1200点

春先から2回に渡っておこなわれたバンパー処分に続き、今回はヘッドライト1200点の間引きを実施しました。対象のヘッドライトは、複合的な欠損があるもので、レンズ面の深傷+ステーの欠損+ステーの補修などが対象になりました。また輸出パイヤーからも需要のないものです。空いた保管スペースを含め、保管エリアの再配置に努め、売れ筋のヘッドライトの保管スペースを前面に押し出すことで、ヘッドライトの状態確認や入出庫のスピードアップが期待されます。



ついで便の留め置き期間は、最長2週間です!

パーツが数点揃ったら送ってほしい! 次回の便に乘せてほしい! といったお客様からの要望に応じて部品を特別にキープするサービスをおこなっています。お客様の中には、キープしていることも忘れてしまうこともあり、頻繁にお客様と連絡を取るようになります。売れ筋商品などの長期間のキープは、他の顧客に照会することも出来ずフロントが対応に苦慮している状況です。解決策として「キープ期間を最長2週間」と決めて運用することになりましたので、ご協力おねがいします。



梱包用段ボール箱

リノベーターパーツを発送する段ボール箱のサイズは、運送会社のサイズ別運賃表と照らし合わせながら、無駄のない最適な大きさを準備するため、21種類に増え続けています。特にヘッドライトやテール、グリル類は、デザイン的に大きくなる傾向があり、随時サイズ変更を続けていますが、それでも梱包用段ボール箱は7種類に達しています。どの段ボール箱を使って梱包するか? これもノウハウのひとつとなり、お客様の運送費負担の低減につながっています。



発想の転換

日刊自記事から抜粋

かつて津軽地方を襲った台風、最大瞬間風速50メートルを超え甚大な被害を残した。この台風により収穫時期間近のリンゴの約9割のリンゴが落ち、木に残ったのはたったの1割程度だった。しかし、ここで若い農家の一人が逆転の発想を思いついた! 風速50メートル以上の強風雨にも耐え、落ちなかったリンゴを受験生向けの縁起物として、全国の神社で販売する! その名も「落ちないりんご」! 高額な価格設定だったがメディアで話題となり大ヒット! リンゴ農園は復活を遂げることができた。落ちたリンゴを見るのではなく、残ったリンゴに視点を向け、見事にピンチをチャンスに変えた出来事であった。少しの視点の変化の先にビジネスチャンスが眠っていることをお忘れなく。

